

令和8年度（2026年度）

第1回熊本市社会教育委員会議

資料

日時：令和8年(2026年)8月6日(木) 14:00～

生涯学習課

目 次

ページ

熊本市社会教育委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-----------------------------	---

令和 8 年度熊本市社会教育関係機構図・・・・・・・・	2
-----------------------------	---

【 議 事 】

(1) 令和 8 年度熊本市社会教育関係事業概要について・・・・・・・・	4
--------------------------------------	---

(2) 令和 7 年度第 2 次熊本市生涯学習推進計画の 取組状況について・・・・・・・・	9
--	---

【 参 考 】

・ 第 2 次熊本市生涯学習推進計画評価シート・・・・・・・・	別冊 1
---------------------------------	------

・ 第 2 次熊本市生涯学習推進計画・・・・・・・・	別冊 2
----------------------------	------

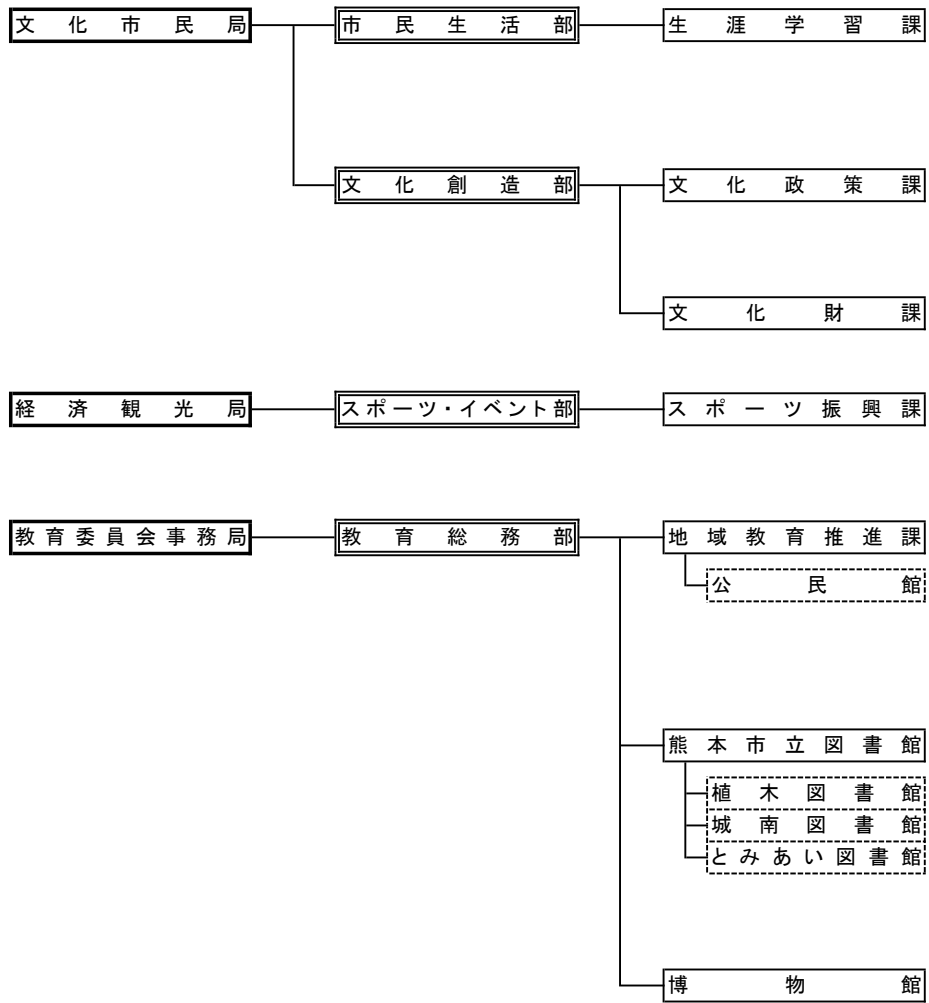
・ 参考資料（関係法令）	
--------------	--

熊本市社会教育委員 名簿

区 分	氏 名	所属団体・役職等
学識経験者	八幡 彩子	国立大学法人 熊本大学大学院教育学研究科・教授
社会教育	加藤 貴司	熊本市地域公民館連絡協議会 会長
社会教育	國武 明子	熊本市地域婦人会連絡協議会 副会長
社会教育	中川 保敬	熊本市スポーツ協会 副理事長
社会教育	原 幸代子	熊本県文化協会 副会長
社会教育	林田 真	熊日サービス開発(株)熊日生涯学習プラザ 調査役
家庭教育	吉川 真由美	熊本市PTA協議会 常任理事
学校教育	杉本 誉弘	熊本市小学校校長会
社会教育	川地 純一	市民公募

任期：令和7年（2025年）6月1日から令和9年（2027年）5月31日まで
 ※吉川委員のみ令和8年（2026年）6月1日から令和9年（2027年）5月31日まで

令和8年度社会教育関係機構図



令和8年度社会教育関係機構図

```

graph LR
    subgraph "中央区"
        ZO[中央区役所] --- ZMB[区民部]
        ZMB --- ZMC[中央区まちづくりセンター]
        ZMC --- ZFW[五福交流室  
(五福公民館)]
        ZMC --- ZOH[大江交流室  
(大江公民館)]
    end

    subgraph "東区"
        TO[東区役所] --- TMB[区民部]
        TMB --- TMS[託麻まちづくりセンター  
(託麻公民館)]
        TMB --- TKS[秋津まちづくりセンター  
(秋津公民館)]
        TMB --- TEB[東部まちづくりセンター  
(東部公民館)]
    end

    subgraph "西区"
        WO[西区役所] --- WMB[区民部]
        WMB --- WMC[西部まちづくりセンター  
(西部公民館)]
        WMB --- WHM[河内まちづくりセンター]
        WHM --- WHI[河内交流室  
(河内公民館)]
        WMB --- WTC[花園まちづくりセンター  
(花園公民館)]
    end

    subgraph "南区"
        NO[南区役所] --- NMB[区民部]
        NMB --- NFM[富合まちづくりセンター  
(富合公民館)]
        NMB --- NBT[飽田まちづくりセンター  
(飽田公民館)]
        NMB --- NTM[天明まちづくりセンター  
(天明公民館)]
        NMB --- NKT[幸田まちづくりセンター  
(幸田公民館)]
        NMB --- NCS[城南まちづくりセンター]
        NCS --- NCI[城南交流室  
(城南公民館)]
        NMB --- NSC[南部まちづくりセンター  
(南部公民館)]
    end

    subgraph "北区"
        BO[北区役所] --- BMB[区民部]
        BMB --- BMC[植木まちづくりセンター  
(植木公民館)]
        BMB --- BBT[北部まちづくりセンター  
(北部公民館)]
        BMB --- BSC[清水まちづくりセンター  
(清水公民館)]
        BMB --- BLD[龍田まちづくりセンター  
(龍田公民館)]
    end
  
```

中央区役所 — 区民部 — 中央区まちづくりセンター
 五福交流室 (五福公民館)
 大江交流室 (大江公民館)

東区役所 — 区民部 — 託麻まちづくりセンター (託麻公民館)
 秋津まちづくりセンター (秋津公民館)
 東部まちづくりセンター (東部公民館)

西区役所 — 区民部 — 西部まちづくりセンター (西部公民館)
 河内まちづくりセンター
 河内交流室 (河内公民館)
 花園まちづくりセンター (花園公民館)

南区役所 — 区民部 — 富合まちづくりセンター (富合公民館)
 飽田まちづくりセンター (飽田公民館)
 天明まちづくりセンター (天明公民館)
 幸田まちづくりセンター (幸田公民館)
 城南まちづくりセンター
 城南交流室 (城南公民館)
 南部まちづくりセンター (南部公民館)

北区役所 — 区民部 — 植木まちづくりセンター (植木公民館)
 北部まちづくりセンター (北部公民館)
 清水まちづくりセンター (清水公民館)
 龍田まちづくりセンター (龍田公民館)

令和8年度 熊本市社会教育関係事業概要について

議事1

令和8年度 熊本市社会教育関係 所管事務、予算及び主要事業概要

生涯学習課				
所管事務				
(1) 生涯学習の推進に係る企画及び実施に関すること。 (2) 社会教育に関する諸施策の企画及び実施に関すること。 (3) 社会教育に関すること。 (4) 公民館の設置及び廃止に関すること。 (5) 公民館の総括に関すること。 (6) 関係教育機関との連絡及び調整に関すること。 (7) 地域婦人会連絡協議会その他社会教育的団体の支援に関すること。 (8) 青少年健全育成に関すること。(他課の所管に属するものを除く。) (9) 地域公民館活動の支援に係る総合調整に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二生涯学習推進計画 における該当取組
生涯学習推進経費	1,459	1,013	民間団体等と連携し、効果的に学習情報を収集提供する生涯学習情報システムの運用保守を行う。	1-①-3 1-②-2 2-①-7
社会教育団体助成経費	2,105	2,105	社会教育関係団体の事業費に対し補助を実施する。 【R8補助金予算】 熊本市地域婦人会連絡協議会 972,000円 熊本市地域公民館連絡協議会 1,133,000円	—
青少年活動支援経費	852	1,140	青少年健全育成に関する活動を行っている団体に対して支援を行う。 【R8補助金予算】 熊本市子ども会育成協議会運営補助金 591,000円 日本ボーイスカウト熊本市連絡協議会 277,000円 ガールスカウト熊本県連盟熊本市連絡会運営補助金 242,000円	2-①-5 2-①-6
青少年健全育成助成	5,720	5,852	校区青少年健全育成協議会及び熊本市青少年健全育成連絡協議会に対する支援を通じて、地域ぐるみの青少年健全育成活動の推進を図る。 【R8補助金予算】 校区青少年健全育成協議会運営費補助金 5,565,000円 熊本市青少年健全育成連絡協議会事業費補助金 287,000円	2-①-3 2-①-4
主催講座開催経費	17,773	18,644	市民の学習ニーズに対応した講座及び地域家庭教育力の向上のための講座を開催する。	1-①-4,1-③-1 1-④-5,1-④-13 1-⑥-22,1-⑦-9 1-⑨-1,2-①-15 2-③-2,2-③-3
公民館活動推進費	7,462	7,800	ICTを活用した情報発信を行い利便性の向上を図る。	—
公民館こども活動支援経費	1,918	2,473	休日を有意義に過ごせるような、こどもや親子を対象とした講座を開催する。また、こどもたちが企画・運営するイベントを行う。	1-④-4
一般管理経費 (公民館費)	258,897	273,102	公設公民館19館及び分館2館の会計年度任用職員関係経費。	—

文化政策課				
所管事務				
(1) 芸術及び市民の文化活動の振興に関すること。 (2) 文化行政に係る調査研究に関すること。 (3) 伝統工芸の振興に関すること。 (4) 現代美術館に関すること。 (5) くまもと工芸会館に関すること。 (6) 市民会館に関すること。 (7) 健軍文化ホールに関すること。 (8) 文化芸術推進会議に関すること。 (9) 熊本市制100周年記念人づくり基金に関すること。 (10) エンターテインメント支援基金に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
くまもと市文化協会 経費	6,438	6,461	地域文化活動団体の相互の交流や連携並びに地域文化の振興、育成及び継承を図るため、各区文化協会等の情報の発信や事業の活動の支援を行う。	1-⑦-5
文化芸術基本計画推進経費	4,100	1,400	熊本市文化芸術基本計画の推進に向けた取組を行っていく。	—
文化顧問経費	4,666	5,700	上質な生活・文化都市を目指すため、暮らしと文化芸術を結びつけるための核となる人材を置き政策立案にその知見を活用する。	—

文化財課				
所管事務				
(1) 文化財の保存及び活用並びに埋蔵文化財の発掘調査に関すること。				
社会教育関係事業について				
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
埋蔵文化財調査経費	496,224	1,547,807	文化財保護法に基づく遺跡の包蔵地内の開発行為に伴う発掘調査等経費	—
(震災)文化財等災害復旧経費	28,696	21,800	文化財等の震災復旧に向けた調査・設計・復旧工事等経費	—
	(2,431)	-	(上記のうち) 令和6年度繰越分	—
史跡保存活用経費	54,981	56,900	史跡公園の適正な維持・管理経費	—
記念館管理経費	72,539	76,915	記念館の管理運営及び三賢堂等施設の維持管理経費	1-⑦-7
記念館活用事業経費	27,447	47,000	記念館を活用した魅力発信に要する経費	1-⑦-7
田原坂西南戦争資料館管理経費	19,366	20,313	田原坂西南戦争資料館の維持管理経費	1-⑦-6 1-⑦-7

スポーツ振興課				
所管事務				
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援に関すること。 (2) 市民スポーツフェスタの開催に関すること。 (3) 放課後子どもスポーツ教室に関すること。 (4) 学校体育施設夜間開放に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
総合型地域スポーツ クラブ関係経費	2,312	3,945	・スポーツリーダー講習会講師謝金 ・各種会議、研修等参加旅費、負担金、総合型 地域スポーツクラブ支援費（需用費・使用料 等） ・一般市民、各スポーツクラブ貸出用スポーツ 用具購入費（消耗品費・備品購入費） ・総合型地域スポーツクラブへの子どもスポー ツ教室運営委託 ・備品購入費	1-⑧-1 2-①-16
市民スポーツフェス タ経費	3,268	3,268	・熊本市民スポーツフェスタ実行委員会運営補 助	1-⑧-2
学校体育施設夜間開 放経費	84,503	84,593	・委託料 ・備品 ・消耗品	—

地域教育推進課				
所管事務				
(1) 家庭教育に関すること。（他課の所管に属するものを除く。） (2) 金峰山自然の家に関すること。 (3) 熊本市立金峰山自然の家運営協議会に関すること。 (4) 社会教育関係団体（PTA）の支援に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
家庭教育推進事業	287	1,056	家庭教育の教育力向上のため、保護者等を対象 にした家庭教育の大切さについて啓発するた めの学習機会を提供している。	1-④-7
金峰山自然の家関連 経費	181,700	180,800	令和7年度よりリニューアルオープンし、指定 管理者（PFI事業）による運営を開始。市内の小 学生の集団宿泊教室利用を最優先に、一般利用 も可とし、環境教育等、学びの場の提供などを 行う。	1-⑨-9
学校外教育推進経費 （社会教育関係団体 助成経費）	1,354	1,354	熊本市PTA協議会が行う「会員の研修、親睦」 「児童生徒の教育、福祉及び健康安全」、「学 校教育、家庭教育及び社会教育の振興」、「そ の他児童生徒の健全育成」に関する事業に対 して支援を行う。 【R8補助金予算】 PTA活動事業費補助金 1,354,000円	—

熊本市立図書館

所管事務

- (1) 図書、記録、郷土資料、地方行政資料、刊行物その他必要な資料の収集、整理、保存及び廃棄に関すること。
- (2) 図書館サービスに関すること。
- (3) 図書館事業の企画及び実施に関すること。
- (4) 移動図書館に関すること。
- (5) 電子図書館に関すること。
- (6) 図書館協議会に関すること。
- (7) 分館及びくまもと森都心プラザの図書館に関すること。
- (8) 学校その他の教育機関との連携に関すること。
- (9) 図書館の施設、設備等の維持管理に関すること。
- (10) 図書館の設置及び廃止に関すること。

社会教育関係事業について

(単位：千円)

	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
図書館管理運営経費	400,507	434,805	1.電子書籍貸出サービスの充実 利用者ニーズに応じて電子書籍コンテンツを充実し、利便性の向上を図る。 2.来館が困難な方への読書支援 図書等の郵送貸出を継続するとともに、電子書籍の文字拡大や読み上げ機能などを活用しサービスを提供する。 3.圏域住民の相互利用の推進 市町村間の図書館相互利用を継続し、未実施自治体への働きかけを行う。 4.図書館ネットワークの充実 本館・分館・図書室間で情報共有を行うとともに、資料の相互利用により利用者サービスの向上を図る。 5.読み聞かせボランティアの育成 研修会や養成講座を開催し、ボランティアのスキル向上と新たな人材の育成に取り組む。	1-③-3 1-⑥-9 1-⑨-3 2-③-7

博物館				
所管事務				
(1) 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。 (2) 博物館資料の調査研究に関すること。 (3) 博物館資料に関する研究報告その他の資料の作成及び頒布に関すること。 (4) 学校その他社会教育機関等の行う教育、研究等の支援に関すること。 (5) 博物館事業の企画及び実施に関すること。 (6) 熊本博物館協議会に関すること。 (7) 塚原歴史民俗資料館に関すること。 (8) 博物館の施設、設備等の維持管理に関すること。 (9) 博物館の設置及び廃止に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
博物館展示管理経費	22,706	22,500	・博物館での字幕付きプラネタリウムの投映 ・博物館におけるお迎え事業及びお出かけ事業の実施 ・博物館主催講座への圏域住民の相互参加	1-⑥-10 1-⑨-5 1-⑨-6
こども科学・ものづくり経費	505	1,500	・博物館及び塚原歴史民俗資料館でのこども科学・ものづくり教室などの実施 ※R8より子ども学び教室に事業名変更	1-⑨-4
特別展等開催経費	28,513	26,600	・博物館における魅力ある展覧会の開催	1-⑨-8

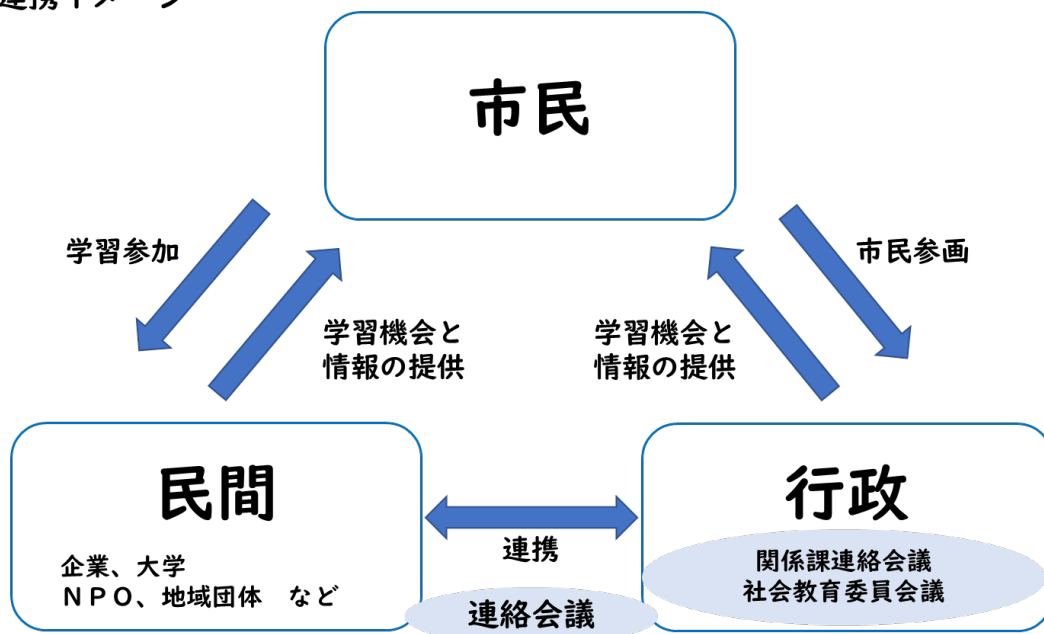
中央区まちづくりセンター				
所管事務				
(1) 中央公民館に関すること。				
社会教育関係事業について				(単位：千円)
	R7 決算見込額	R8 予算額	事業内容	第二次生涯学習推進計画 における該当取組
白川公園内複合施設等管理運営経費	107,816	117,496	白川公園内複合施設等の管理運営に係る指定管理料	—

令和7年度第2次熊本市生涯学習推進計画の取組状況について

推進体制図

計画推進にあたっては、庁内関係部署からなる「熊本市生涯学習庁内関係課連絡会議」において、進捗状況の確認や効果の把握等を行うとともに、有識者や公募市民等からなる「熊本市社会教育委員会」において報告し、意見を求めながら本計画の進行管理を行う。

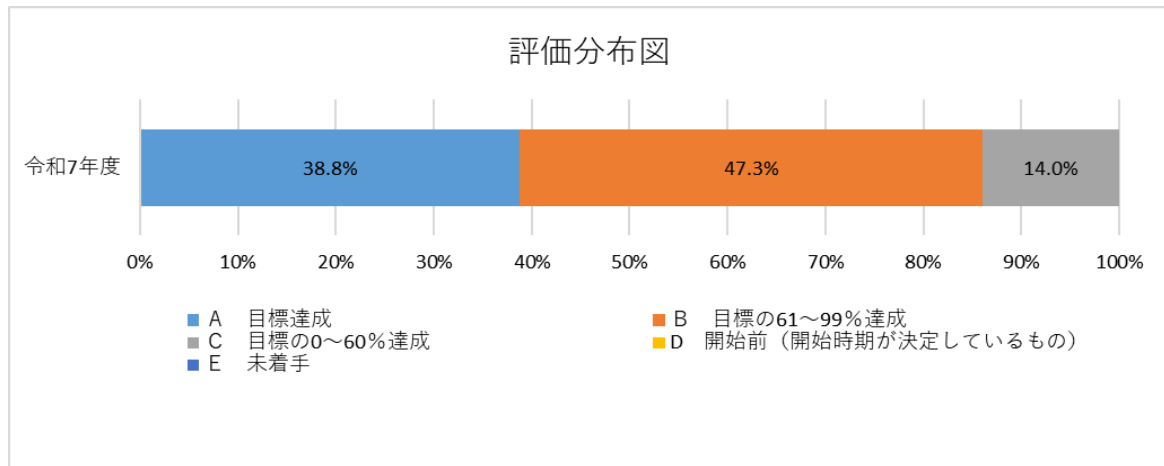
連携イメージ



各取組における評価指標の達成状況

第2次熊本市生涯学習推進計画の施策ごとの具体的な取組内容については、【別冊1】第2次熊本市生涯学習推進計画評価シートに令和7年度の実績と令和8年度の方針性をまとめている。各取組の評価指標の達成状況については、以下のとおりとなる。

1 達成状況



〈具体的な取組件数〉

〈具体的な取組件数〉

令和7年度	件数
A	50件
B	61件
C	18件
D	0件
E	0件
計	129件

※「－」は除いた件数。

2 令和7年度の達成状況の分析

- ・目標の61%以上達成した取組（A,B評価）が全体の86.1%となり、計画に基づき着実に取組を展開し、一定の成果を上げている。今後も継続的な取組の推進が必要である。
- ・C評価については、令和6年度と比較すると実績値が上昇している取組も複数あり、引き続き広報に力を入れていくという声が複数挙げられた。

検証指標の達成状況

1 検証指標の概要

本市では、生涯学習の成果を把握するため、以下の3指標を設定している。

検証指標ア：生涯学習が自らの向上に役立ったと感じた市民の割合（成果実感者率）

検証指標イ：学習を通じて新たな仲間ができた市民の割合（仲間形成率）

検証指標ウ：学習を通じて地域活動やボランティア活動に参加した市民の割合（地域参画率）

（以下、ア＝成果実感者率、イ＝仲間形成率、ウ＝地域参画率とする。）

2 調査概要

調査元：熊本市第8次総合計画市民アンケート調査

実施時期：令和8年1月19日～2月6日

対象者：市内在住の18歳以上男女5,000人（住民基本台帳より無作為抽出、外国人含む）

有効回収数：1,826人（36.52%）

方法：郵送法およびWEBアンケート

項目：総合計画の成果指標等77項目＋属性8項目

関連質問：問45、問45-1

質問内容：以下のとおり

<検証指標アに関する質問>

	R7	～R6
問45	あなたは、この1年間に、日常生活（趣味やボランティア、地域活動、仕事などを含む）を通じて、新しい知識や技能を身につけたり、自分の成長や生活の充実につながるような学びや活動を行いましたか。（複数回答）	あなたは、この1年間に、どのような場所や形態で学習をしたことがありますか。（複数回答）
問45選択肢	・公民館や体育館など公的な機関で講座や講演に参加したり、運動をした ・カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の施設で習い事や運動をした／通信教育を受けた ・学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）で学んだ ・職場において実施される研修や勉強会に参加した ・サークルや仲間との集まりで習い事や活動をした ・図書館、博物館、美術館などの文化施設に行った ・テレビやラジオ、映画で知識や情報を得た ・インターネットの記事やSNS（動画の視聴などを含む）等を通じて新しいことを学んだ ・自宅で本（雑誌や漫画を含む）や新聞を読んだり、趣味の練習や活動をした ・その他の方法で学びや活動を行った ・生涯学習活動はしていない ・わからない	・公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室 ・カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育 ・学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室 ・職場の教育、研修 ・同好者が自主的に集まっている集まり、サークル活動 ・図書館、博物館、美術館 ・テレビやラジオ ・インターネット ・自宅での学習活動（新聞や本を読むなど） ・その他 ・学習をしたことがない ・わからない

<検証指標ア、イ、ウに関する質問>

	R7	～R6
問45-1	あなたは、学びや活動を通して得たことが、日常生活や人との関わりにどのように役立っていると思いますか。（複数回答）	あなたは、学習を行い、どのような結果を得られましたか。（複数回答）
問45-1 選択肢	・新たな仲間ができた ・地域の活動やボランティア活動に役立てたり、参加するようになった ・学びや活動をきっかけに、地域の情報に関心を持つようになった ・仕事や就職に役立つ知識・技術を身につけた ・健康の改善や日常生活で役立った ・家族や友人など周囲の人とのコミュニケーションや学びに役立った ・自分の視野が広がり、考え方や気持ちの変化を感じた ・学びや活動をきっかけに、別の学びに取り組むようになった ・上記以外に何か得るものや役に立つことがあった ・特に役に立ったことはない ・わからない	・学習を通じて新たな仲間づくりができた ・学習を通じて地域の活動やボランティア活動に参加した ・学習により、自ら新たな学習活動を行うようになった ・仕事や就職に役立つ知識・技術を習得できた ・日常生活や健康増進に役立った ・その他 ・特にない ・わからない

3 指標の達成状況（年度推移）と算出方法

検証指標	基準値（R5）	実績値（R6）	実績値（R7）	検証値（R13）
ア 生涯学習が自らの向上に役立ったと思う市民の割合	68.4%	66.1%	64.5%	85.0%
検証指標	基準値（R1）	実績値（R6）	実績値（R7）	検証値（R13）
イ 学習を通じて新たな仲間づくりができた市民の割合	24.1%	19.4%	25.1%	50.0%
ウ 学習を通じて地域の活動やボランティア活動に参加した市民の割合	12.2%	4.2%	6.4%	30.0%

成果実感者率（ア）：問 45 回答者を分母とし、問 45-1 から「特にない」「わからない」「無回答」を除いた人数を分子とする。

仲間形成率（イ）：問 45-1 で「新たな仲間ができた」を選択した人の割合。

地域参画率（ウ）：問 45-1 で「地域活動やボランティア活動に役立てたり、参加するようになった」を選択した人の割合。

4 参考指標

検証指標アと低下要因を分析するにあたり、学習実施者の広がり、学習者内における成果実感の状況を分けて確認するため、以下の2つを参考指標として用いる。

● 参考指標 1：生涯学習実施率

過去1年間に生涯学習を行った市民の割合

→ 学習参加の「裾野」が広がっているか／縮小しているかを把握するための指標。

	R5	R6	R7
過去1年間に生涯学習を行った市民の割合	83.3%	81.7%	76.8%

求め方：問 45 の回答者数から「無回答」を除いた人数を分母とし、「生涯学習活動はしていない」及び「わからない」以外を選択した回答者数を分子として算出した割合。

● 参考指標 2：成果実感率（学習者内）

学習した人のうち成果を感じた人の割合

→ 学習の「質」が維持されているかを把握するための指標。

	R5	R6	R7
学習者内の成果実感率	84.3%	83.9%	88.1%

求め方：問 45-1 の回答者数を分母とし、問 45-1 の回答者数から「特に役立ったことはない」「わからない」「無回答」を除いた人数を分子として算出した割合。

5 令和 7 年度の分析

（1）成果実感率の動向

- ・ R5→R7 で低下しているが、学習者内の成果実感率は R7 で 88.1%まで上昇。
→ 成果の質が低下したのではなく、学習実施者の広がりやの縮小が成果実感率の低下を招いている。

（2）生涯学習実施率の低下要因

- ・ 実施率は低下しているが、主因は「未実施者の増加」ではなく「わからない」回答の増加。
→ 市民が日常的な活動を生涯学習として認識しづらい可能性。

（3）仲間形成率・地域参画率

- ・ 仲間形成率は一貫して上昇。
- ・ 地域参画率は R6 で低下したが R7 で回復。
→ 仲間形成を地域活動へつなげる取組が重要。

6 総合評価

（1）現状

- ・ 成果実感率は高水準で推移する一方、生涯学習実施者の割合は低下。
- ・ 仲間形成は進み、地域参画は回復傾向。
→ 学習した市民には成果があるが、効果が市民全体に十分広がっているとは言い切れない。

（2）課題認識

- ・ 成果実感率の低下は「学習の質」ではなく「学習実施者の広がりやの縮小」が主因。
- ・ 生涯学習実施率の低下には「わからない」回答の増加が影響。
→ 市民が生涯学習を自分事として捉えにくい状況。
- ・ 今後は、「学習参加の広がり」「成果実感」「仲間形成」「地域参画」の各段階を一体的に把握し、課題の所在を明確化する必要がある。

（3）今後の方向性

- ・ 日常的な活動も生涯学習に含まれることを分かりやすく周知する。（読書、健康づくり、趣味、スポーツ、地域活動、研修、ネット情報収集など）
- ・ 多様なライフスタイルに応じた学習機会を充実させる。（短時間・単発・体験型、夜間・休日、オンライン、親子参加、託児付きなど）
- ・ 仲間形成を地域活動・ボランティアへ接続し、地域参画率の安定向上を図る。

(4) 総括

「誰もが学びたいときに学べる環境づくり」の観点から、

- ・ 生涯学習機会の充実
- ・ 学習情報の発信強化
- ・ 学びを地域につなげる仕組みづくり

を進め、市民の自己実現と地域社会の活性化につなげる。